



里地里山の保全・活用の取組における課題と技術的方策等

分類	多様な主体の連携協働／バイオマス資源利用
手法名	木の駅プロジェクトにおける薪資源の創出と活用促進
主体	特定非営利活動法人地域再生機構
背景(地域の課題)	<p>里地里山は、豊かな森林資源を持つ一方で、それらが有効に活用されず、十分な管理も行われていない現状が散見される。一方で特にエネルギー自給の面ではバイオマスエネルギーの潜在的能力が着目されている。地域本来の里山資源を生かして、地域雇用も生みだしながら、活性化していくための仕組みや技術が求められている。</p>
手法／方策の詳細	<p>NPO法人地域再生機構では、「木の駅プロジェクト」により林地残材の搬出を促進すると共に、材を薪に加工し地域施設で利用を図ることで、木質バイオマス活用による地域雇用の拡大も視野に入れた取り組みを進めている。</p> <p>1)木の駅プロジェクトによる林地残材の搬出促進(写真1) 自伐林家など地元の方が伐採・搬出した木材を「木の駅」と名付けた土場に運ぶことで地域通貨「里山券」と交換する。この里山券は地域の商店で利用でき、商店はその券を換金する。このような森林活動と地域経済を回していく仕組みにより地域の林地残材の搬出を促進させる。</p> <p>2)木材を「薪」として加工 木の駅の土場の近隣に加工・保管場所を確保し、搬出された材を薪という身近なバイオマスエネルギー資源として加工・保管する。</p> <p>3)薪ボイラー等を地域施設に導入し活用 地域の温浴施設などに薪ボイラーを導入。木の駅プロジェクト等によって生み出された薪をバイオマスエネルギーとして利用する。 薪と引き換えに入浴券や食事券を交換するなどのユニークな仕組みも考案・実施されているところもある(岐阜県恵那市笠岡地域木の駅実行委員会・花白温泉の事例)。</p> <p>4)薪をテーマにしたイベント活用と普及啓発活動の実施(写真2・3) 「まきわりcafé」などのイベントを開催し、薪を割るなどの加工プロセスそのものを参加者と共に楽しみながら取り組んでいる。 薪割り作業を様々な年代層の参加者で競い合ったり、このイベントで得られた薪で煮炊きをして交流に活用するなど、薪の利用の楽しみと充実感を気軽に体験できる内容となっている。</p>
手法・技術的視点	<p>1)資源調達から利活用までを一體的に視野に入れた仕組み作り 地域主体の実行委員会体制や地域通貨等の仕組みを組み合わせた「木の駅」プロジェクトにより、地域の自伐林家による自主的・効果的な林地残材の搬出が促進されている。また、それら集まった材を「薪」という里地里山地域に伝統的でなじみ深いバイオマスエネルギーとして加工するとともに、薪ボイラーの技術導入を図るなど、伝統的素材と新技術のマッチングを行うことで、地域内で循環的利用が行われるような工夫がされている点が着目される。</p> <p>2)一般市民へも気軽に参加を促す普及啓発方法 薪割りカフェなど、本来重労働で手間がかかるとされる加工工程を、イベントの楽しみの要素として新たな視点から光を当てている。木質バイオマスの特性を掘り下げ工夫を凝らして提示することで、一般市民も気軽に体験しながら参加できるものとしており、里山資源を捉えなおすための着眼点も含まれている。</p> <p>3)木質バイオマスの特性を生かし地域雇用を見据えた取り組み展開 薪などの木質バイオマスの素材搬出・加工・管理・保管・活用といった各段階における作業工程を新たな地域雇用を生み出す要素として捉え直している点で着目される。</p>

<p>実行プロセス・運営体制のイメージ</p>	<div style="text-align: center;"> <h1>「もくもくシステム」</h1> <p>(木の駅と薪ボイラーの仕組み)</p> </div>
<p>図・写真資料</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="margin-bottom: 10px;">  <p>上写真1: 木の駅プロジェクトで木材搬出のために集まった軽トラ</p> </div> <div>  <p>下写真2・3: まきわりcafeの様子</p> <p style="text-align: right;">みんなが薪を割る！</p> </div> </div>
<p>参考資料</p>	<p>里なび研修会in岐阜県上石津町パワーポイント資料(森 大頭) 特定非営利活動法人地域再生機構ホームページ http://chiikisaisei.org/</p>